



録画配信の
2次元コード

内藤 光雄

新政みらい

人口減少対策と待機児童対策の 進捗状況は !!

◆狭山市への転入者の状況は？

Q 若い世代の転入促進と転出抑制の両面を狙いとする、親元同居・近居支援補助制度及び若い世代の住宅取得支援補助制度の実績は？

A 企画財政部長 「親元同居・近居支援補助制度」は、制度を開始した平成29年度からの累積で450件、1億7,255万6千円であり、市外からの転入者数は1,386人となっている。次に「若い世代の住宅取得支援制度」は、制度を開始した令和2年度からの累積で979件、1億6,750万円であり、市外からの転入者数は1,299人、市内の転居者数は1,775人となっている。

◆保育所の拡大状況と待機児童解消の見込みは？

Q 保育所及び学童保育室の新規開設状況は？

A こども支援部長 保育所は令和6年4月に定員90人の認可保育所を入曽地区に新たに開設したが、令和7年度に新規開設の予定はない。学童保育室は令和6年度に新狭山地区に定員40人の民間学童保育室を開室し、令和7年度も入間川地区に定員50人の民間学童保育室を開室する予定である。

Q 今後の待機児童解消の見込みは？

A こども支援部長 保育所は、既存の教育・保育施設内の定員調整や空き教室の活用及び、保育コンシェルジュによる入所希望先のマッチングを行うとともに、地域型保育事業所の整備等で待機児童の解消に至ると見込んでいる。学童保育室は、学校の余裕教室の活用や民間学童保育室の誘致なども含め、待機児童の解消に向けて努めていく。



更なる転入促進の推進を!!

その他のテーマ▶児童・生徒の“SOS”を的確に受け止めるための方策と支援の状況は !!



録画配信の
2次元コード

三浦 和也

無所属

就職氷河期世代への支援 狭山市にもできることはあるか

Q 令和7年度に実施する市職員採用資格試験における職種について、就職氷河期世代対象の事務枠を設けてほしいが、市の見解は。

A 総務部長 令和7年度に実施する採用試験においては、就職氷河期世代を対象とした事務職枠を設けることは考えていない。しかしながら、本市としても人材確保に向けた多様な方策を検討する必要があることから、技術職のみならず、事務職についても経験者採用として就職氷河期世代も一部含まれる年齢を募集要件とするなど、働く側と職場の双方にとって有益となる新たな採用試験の仕組みを研究してまいりたい。

Q 就職氷河期世代を含む40歳代から50歳代の方々が、世代間での横のつながりができるような取り組みを、市民大学などを活用して行ってほしいが、市の見解は。

A 市民部長 多様な人々が集う市民大学を目指し、様々な世代に向けたコンテンツを提示したいと考えており、その中で、同世代の方々が共通の興味を通じてつながりを持つきっかけを見いだすことや、さらには同世代にとどまることなく、多世代の交流、仲間づくりを実現できるよう取り組んでまいりたい。



就職氷河期世代の未来に希望を

その他のテーマ

- ▶中央図書館の建替え場所と規模の決定を
- ▶窓口開庁時間短縮の取り組みを導入する考えは